

おゆみの

つどい まなび つなぐ

編集・発行 千葉市おゆみ野公民館
 千葉市緑区おゆみ野中央 2 丁目 7 番地 6
 電話 043-293-1520 FAX 043-293-1521



生涯大学のボランティアさんによる花壇

救命講習を受講して

千葉市おゆみ野公民館長 古賀 隆司

11 月に行われた救命講習に受講者とともに参加させていただきました。数年前に講習を受講した経験はありますが、忘れていた部分や新しい内容に変わっている部分などがあり、大変勉強になりました。胸骨圧迫や AED を使用しなければいけない状況が、起こらない事が一番ですが、万が一に備えておくことも必要かと思えます。

もし、緊急の場面に遭遇した時に、私が(皆さんも)感じることは、失敗したらどうしようということだと思います。講師の先生からの助言では、躊躇して救命処置を行わないことで、救える命が救えなかった例がとても多いようです。AED は音声によって指示してくれるので、その通り行うことで安全に救命処置を行うことができるそうです。

(心配な方は、119 番通報したときに救命処置の方法を教えてくださいることができます。)



— 秋・冬イベントのご紹介① (9月~12月) —

歴史講座 (9月15日)



「藩社会における執務規則」の古文書を読み解き、江戸時代の武士たちの当時の暮らしぶりや習慣を学びました。毎年人気の講座ですが、今回は、めずらしい「執務規則」の古文書を読み解く講座だったので、参加者の皆様も大変満足されていました。

スマホ講座 (10月12日)



スマホの持ち方から、タッチの仕方、map 活用法、メール、写真の機能など、初心者にわかりやすくご指導をいただきました。次回は、LINE を使いこなせるようになりたいとの感想をたくさんいただきました。令和5年秋に、スマホLINE 講座実施予定!

Chiba イクメン塾~パパ全力講座~ (10月29日)



千葉市男女共同参画センターとの共催事業で実施しました。バスタオルや新聞紙など身近な物を使って、思い切り体を使って遊ぶ内容でした。

ちぎった新聞紙を思いきり放り投げるという単純な遊びですが、館内に響きわたる未就学児の大きな笑い声が印象に残る講座となりました。

パパたちから「お金をかけずに子供たちとこんなに楽しくコミュニケーションが取れると知りました」とうれしい感想をいただきました。



町探検 (10月24日)



扇田小の2年生が町探検で来館してくれました。

当日活動していた吹奏楽や韓国語サークルの見学をしたり、館長にいろいろ質問をしてメモをとっていました。

教育講演会 (11月5日)



今年は「~思春期講座~子どもの思春期を心穏やかに迎えるために」がテーマでした。

「子どもの心と体を健康に育むこと、その一点に心を砕き愛情を伝え続けること」という講師の動機が聴講者の心に響きました。

— 秋・冬イベントのご紹介② (9月~12月) —

シュトーレン教室 (11月17日)



毎回人気の講座ですが、今年度も高倍率となりました。パン作り初心者にもわかりやすく丁寧に教えていただきました。ナッツやドライフルーツがたくさん入った、美味しいシュトーレンに仕上がりました。皆様にご満足いただけたようです。紅茶と一緒に試食をして、優雅な雰囲気を楽しみました。



救命講習 (11月28日)



DVD を見ながら応急処置の重要性を学び、実際に人形を使って受講者2名ずつで実技を体験しました。AED と胸骨圧迫、人工呼吸を組み合わせた処置も教えていただきました。緊急時に役立つ知識をたくさん学べた講座でした。

季節の飾り (クリスマス)



~サンタさんへおねがい~

- ・ペットを飼いたい
- ・スマホがほしい
- ・おいしいお菓子をたべたい
- ・スイッチがほしい
- ・パソコンがほしい

など多数



クリスマスコンサート (12月4日)



緑区吹奏楽団によるクリスマスコンサートを行いました。消毒・換気等の感染症対策を行い久しぶりのたくさんの観客をいれた開催となりました。クリスマスソング演奏以外にもクイズ形式でのイントロクイズもあり、おおいに盛り上がりました。当館で初めての YouTube 配信を行い、たくさんの方に楽しんでいただけたと思います。



お正月の花を活けよう (12月26日)



活け花の初心者にもわかりやすく、活ける順番やコツを丁寧に教えていただきました。受講者が自宅で活けたい花器を持参して、先生がそれぞれに合わせたアドバイスをくださり有意義な講座となりました。「素敵なお正月を迎えられそう」「活け花が身近に感じられました」「来年もまたチャレンジしたいので計画をしてください」など感想をいただきました。

